

ON YOUR SIDE REPORT

2020.9

京都中央信用金庫の現況

2020年度上半期(2020年4月1日から9月30日)における経営情報を開示いたします

自己資本の充実の状況等について

〈自己資本の構成に関する開示事項〉

- 自己資本の構成に関する開示事項……………1

〈定量的な開示事項〉

- 自己資本の充実度に関する事項……………2
- 信用リスクに関する事項(リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー及び証券化エクスポージャーを除く)…3・4
- 信用リスク削減手法に関する事項……………5
- 派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項……………5
- 証券化エクスポージャーに関する事項……………6
- 出資等エクスポージャーに関する事項……………6
- リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャーに関する事項……………7
- 金利リスクに関する事項……………7

自己資本の充実の状況等について〈自己資本の構成に関する開示事項〉

(単位：百万円)

項目	2019年9月期	2020年9月期
コア資本に係る基礎項目 (1)		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	257,573	266,365
うち、出資金及び資本剰余金の額	20,421	20,211
うち、利益剰余金の額	237,151	246,153
うち、外部流出予定額(△)	—	—
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	4,445	4,908
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	4,445	4,908
うち、適格引当金コア資本算入額	—	—
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	2,902	2,236
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	264,920	273,510
コア資本に係る調整項目 (2)		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	2,012	2,391
うち、のれんに係るものの額	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	2,012	2,391
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	—	—
適格引当金不足額	—	—
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—
前払年金費用の額	—	—
自己保有普通出資等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	—	—
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—
少数出資金金融機関等の対象普通出資等の額	—	—
信用金庫連合会の対象普通出資等の額	—	—
特定項目に係る10%基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—
特定項目に係る15%基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	2,012	2,391
自己資本		
自己資本の額 ((イ)-(ロ)) (ハ)	262,907	271,118
リスク・アセット等 (3)		
信用リスク・アセットの額の合計額	2,353,280	2,423,989
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	11,473	10,999
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△ 1,425	△ 1,425
うち、上記以外に該当するものの額	12,898	12,424
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	85,491	84,787
信用リスク・アセット調整額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—	—
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	2,438,771	2,508,776
自己資本比率		
自己資本比率 ((ハ)/(ニ))	10.78%	10.80%

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(2006年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

自己資本の充実の状況等について〈定量的な開示事項〉

自己資本の充実度に関する事項

(単位：百万円)

	2019年9月期		2020年9月期	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
イ.信用リスク・アセット、所要自己資本の額の合計	2,353,280	94,131	2,423,989	96,959
①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	2,275,295	91,011	2,342,948	93,717
現金	—	—	—	—
我が国の中央政府及び中央銀行向け	—	—	—	—
外国の中央政府及び中央銀行向け	3,245	129	6,336	253
国際決済銀行等向け	—	—	—	—
我が国の地方公共団体向け	—	—	—	—
外国の中央政府等以外の公共部門向け	342	13	343	13
国際開発銀行向け	—	—	—	—
地方公共団体金融機構向け	3,697	147	2,938	117
我が国の政府関係機関向け	17,611	704	16,746	669
地方三公社向け	79	3	137	5
金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	283,096	11,323	295,115	11,804
法人等向け	700,582	28,023	733,190	29,327
中小企業等向け及び個人向け	616,379	24,655	615,269	24,610
抵当権付住宅ローン	194,101	7,764	196,508	7,860
不動産取得等事業向け	250,880	10,035	264,321	10,572
3か月以上延滞等	2,114	84	1,684	67
取立未済手形	138	5	133	5
信用保証協会等による保証付	7,536	301	8,041	321
株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付	—	—	—	—
出資等	48,933	1,957	44,439	1,777
出資等のエクスポージャー	48,933	1,957	44,439	1,777
重要な出資のエクスポージャー	—	—	—	—
上記以外	146,555	5,862	157,741	6,309
他の金融機関等の対象資本等調達手段のうち対象普通出資等及びその他外部TLAC関連調達手段に該当するもの以外のものに係るエクスポージャー	70,297	2,811	82,374	3,294
信用金庫連合会の対象普通出資等であってコア資本に係る調整項目の額に算入されなかった部分に係るエクスポージャー	17,616	704	17,616	704
特定項目のうち調整項目に算入されない部分に係るエクスポージャー	11,927	477	12,268	490
総株主等の議決権の百分の十を超える議決権を保有している他の金融機関等に係るその他外部TLAC関連調達手段に関するエクスポージャー	—	—	—	—
総株主等の議決権の百分の十を超える議決権を保有していない他の金融機関等に係るその他外部TLAC関連調達手段のうち、その他外部TLAC関連調達手段に係る5%基準額を上回る部分に係るエクスポージャー	—	—	—	—
上記以外のエクスポージャー	46,713	1,868	45,481	1,819
②証券化エクスポージャー	24	0	2	0
証券化				
STC要件適用分	—	—	—	—
非STC要件適用分	24	0	2	0
再証券化	—	—	—	—
③リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー	64,936	2,597	68,289	2,731
ルック・スルー方式	64,936	2,597	68,289	2,731
マンデート方式	—	—	—	—
蓋然性方式(250%)	—	—	—	—
蓋然性方式(400%)	—	—	—	—
フォールバック方式(1,250%)	—	—	—	—
④経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額	12,898	515	12,424	496
⑤他の金融機関等の対象資本等調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置によりリスク・アセットの額に算入されなかったものの額	△ 1,425	△ 57	△ 1,425	△ 57
⑥CVAリスク相当額を8%で除して得た額	1,548	61	1,746	69
⑦中央清算機関関連エクスポージャー	2	0	2	0
ロ.オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	85,491	3,419	84,787	3,391
ハ.単体総所要自己資本額(イ+ロ)	2,438,771	97,550	2,508,776	100,351

(注) 1. 所要自己資本の額=リスク・アセット×4%

2. 「エクスポージャー」とは、資産(派生商品取引によるものを除く)並びにオフ・バランス取引及び派生商品取引の与信相当額等のことです。

3. 「3か月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「我が国の中央政府及び中央銀行向け」から「法人等向け」(「国際決済銀行等向け」を除く)においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。

4. 当金庫は、基礎的手法によりオペレーショナル・リスク相当額を算定しております。

<p>〈オペレーショナル・リスク相当額(基礎的手法)の算定方法〉</p> $\frac{\text{粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}}$

5. 単体総所要自己資本額=単体自己資本比率の分母の額×4%

自己資本の充実の状況等について〈定量的な開示事項〉

信用リスクに関する事項(リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー及び証券化エクスポージャーを除く)

イ.信用リスクに関するエクスポージャー及び主な種類の期末残高
(地域別、業種別及び残存期間別)

2019年9月期

(単位：百万円)

エクスポージャー区分 地域区分 業種区分 期間区分	信用リスクエクスポージャー期末残高					3か月以上延滞 エクスポージャー
	貸出金、コミットメント及び その他のデリバティブ以外の オフ・バランス取引	債券	預け金	デリバティブ取引		
国内	5,957,536	3,207,680	1,301,847	1,272,003	4,083	1,757
国外	160,909	57,438	98,329	5,000	—	—
地域別合計	6,118,446	3,265,118	1,400,177	1,277,003	4,083	1,757
製造業	197,872	137,832	60,030	—	8	50
農業、林業	1,747	1,647	100	—	—	—
漁業	—	—	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	1,698	1,398	300	—	—	—
建設業	158,130	148,679	9,449	—	1	224
電気・ガス・熱供給・水道業	40,201	1,401	38,800	—	—	26
情報通信業	13,030	6,854	6,176	—	—	13
運輸業、郵便業	48,562	29,648	18,913	—	—	0
卸売業	86,929	84,117	2,806	—	4	190
小売業	68,341	58,777	9,498	—	64	61
金融業、保険業	2,113,073	670,802	161,263	1,277,003	4,003	—
不動産業	612,142	602,985	9,156	—	—	422
物品賃貸業	21,477	3,695	17,781	—	—	—
学術研究、専門・技術サービス業	14,682	14,682	—	—	—	18
宿泊業	15,653	15,653	—	—	—	—
飲食業	36,301	36,301	—	—	—	41
生活関連サービス業、娯楽業	55,012	52,111	2,899	—	1	53
教育、学習支援業	14,525	14,525	—	—	—	43
医療、福祉	72,941	72,941	—	—	—	36
その他のサービス	70,581	70,581	—	—	—	84
小計	3,642,905	2,024,638	337,178	1,277,003	4,083	1,268
国・地方公共団体等	1,227,518	164,519	1,062,998	—	—	—
個人	1,075,959	1,075,959	—	—	—	489
その他	172,062	—	—	—	—	—
業種別合計	6,118,446	3,265,118	1,400,177	1,277,003	4,083	1,757
1年以下	1,036,958	427,719	156,224	450,000	3,014	—
1年超3年以下	995,325	129,833	215,364	650,000	127	—
3年超5年以下	538,138	260,089	277,943	—	105	—
5年超7年以下	486,871	245,708	240,937	—	225	—
7年超10年以下	593,740	392,856	200,883	—	—	—
10年超	2,082,979	1,773,544	308,823	—	611	—
期間の定めのないもの	384,432	35,366	—	177,003	—	—
残存期間別合計	6,118,446	3,265,118	1,400,177	1,277,003	4,083	—

2020年9月期

(単位：百万円)

エクスポージャー区分 地域区分 業種区分 期間区分	信用リスクエクスポージャー期末残高					3か月以上延滞 エクスポージャー
	貸出金、コミットメント及び その他のデリバティブ以外の オフ・バランス取引	債券	預け金	デリバティブ取引		
国内	6,728,933	3,711,793	1,393,753	1,438,235	4,795	1,813
国外	184,061	75,644	103,257	5,000	52	—
地域別合計	6,912,995	3,787,438	1,497,010	1,443,235	4,848	1,813
製造業	223,910	159,878	64,032	—	0	482
農業、林業	2,147	2,147	—	—	—	—
漁業	—	—	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	1,660	1,660	—	—	—	—
建設業	198,941	189,989	8,951	—	0	43
電気・ガス・熱供給・水道業	44,327	1,296	43,031	—	—	—
情報通信業	11,847	9,048	2,798	—	0	0
運輸業、郵便業	67,031	37,752	29,279	—	—	—
卸売業	108,717	100,586	8,123	—	6	167
小売業	80,479	74,217	6,250	—	12	125
金融業、保険業	2,575,804	985,724	142,016	1,443,235	4,828	—
不動産業	657,661	646,459	11,201	—	—	302
物品賃貸業	20,141	2,967	17,173	—	—	—
学術研究、専門・技術サービス業	18,906	18,906	—	—	—	1
宿泊業	20,511	20,431	79	—	—	—
飲食業	51,094	50,994	100	—	—	12
生活関連サービス業、娯楽業	61,517	57,703	3,814	—	—	8
教育、学習支援業	17,240	17,240	—	—	—	—
医療、福祉	79,661	79,661	—	—	—	34
その他のサービス	82,605	82,605	—	—	—	381
小計	4,324,206	2,539,270	336,851	1,443,235	4,848	1,558
国・地方公共団体等	1,332,122	171,963	1,160,158	—	—	—
個人	1,076,204	1,076,204	—	—	—	254
その他	180,461	—	—	—	—	—
業種別合計	6,912,995	3,787,438	1,497,010	1,443,235	4,848	1,813
1年以下	1,038,372	575,271	90,696	369,000	3,404	—
1年超3年以下	1,049,104	168,402	229,613	651,000	87	—
3年超5年以下	736,067	364,055	371,822	—	190	—
5年超7年以下	421,995	255,404	166,421	—	169	—
7年超10年以下	725,621	551,255	174,365	—	—	—
10年超	2,310,516	1,845,429	464,090	—	996	—
期間の定めのないもの	631,317	27,619	—	423,235	—	—
残存期間別合計	6,912,995	3,787,438	1,497,010	1,443,235	4,848	—

(注) 1. オフ・バランス取引は、デリバティブ取引を除く。
 2. 「3か月以上延滞エクスポージャー」とは、元又は利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上延滞している債務者に係るエクスポージャーのことです。
 3. 上記の「その他」は、裏付となる個々の資産の全部又は一部を把握することや業種区分に分類することが困難なエクスポージャーです。
 4. CVAリスク及び中央清算機関関連エクスポージャーは含まれておりません。
 5. 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。なお、「ON YOUR SIDE REPORT 2020.9 京都中央信用金庫の現況」5ページに記載している業種別区分とは異なり、個人事業者への貸出金(住宅・消費・納税資金等)を個人のエクスポージャーに含めておりません。

自己資本の充実の状況等について〈定量的な開示事項〉

ロ.一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額

(単位：百万円)

		期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
				目的使用	その他	
一般貸倒引当金	2019年9月期	4,386	4,445	—	4,386	4,445
	2020年9月期	4,215	4,908	—	4,215	4,908
個別貸倒引当金	2019年9月期	7,918	7,879	4	7,914	7,879
	2020年9月期	8,579	7,993	704	7,875	7,993
合計	2019年9月期	12,305	12,324	4	12,300	12,324
	2020年9月期	12,795	12,902	704	12,091	12,902

ハ.業種別の個別貸倒引当金及び貸出金償却の額等

2019年9月期

(単位：百万円)

	個別貸倒引当金					貸出金償却
	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	
			目的使用	その他		
製造業	2,874	2,889	3	2,871	2,889	23
農業、林業	—	32	—	—	32	—
漁業	—	—	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	99	98	—	99	98	—
建設業	105	92	0	105	92	81
電気・ガス・熱供給・水道業	3	3	—	3	3	—
情報通信業	6	6	—	6	6	0
運輸業、郵便業	144	141	—	144	141	—
卸売業	720	748	—	720	748	10
小売業	133	124	0	133	124	3
金融業、保険業	1	1	—	1	1	—
不動産業	2,484	2,410	—	2,484	2,410	16
物品賃貸業	0	0	—	0	0	—
学術研究、専門・技術サービス業	25	27	—	25	27	0
宿泊業	1	32	—	1	32	—
飲食業	196	335	—	196	335	1
生活関連サービス業、娯楽業	39	56	—	39	56	—
教育、学習支援業	101	89	—	101	89	—
医療、福祉	467	521	—	467	521	1
その他のサービス	265	21	—	265	21	0
小計	7,671	7,632	4	7,667	7,632	138
国・地方公共団体等	—	—	—	—	—	—
個人	246	246	—	246	246	0
合計	7,918	7,879	4	7,914	7,879	138

2020年9月期

(単位：百万円)

	個別貸倒引当金					貸出金償却
	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	
			目的使用	その他		
製造業	2,603	2,547	296	2,306	2,547	45
農業、林業	32	4	—	32	4	—
漁業	—	—	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	155	153	—	155	153	—
建設業	92	120	—	92	120	6
電気・ガス・熱供給・水道業	5	5	—	5	5	—
情報通信業	6	6	—	6	6	—
運輸業、郵便業	91	90	—	91	90	—
卸売業	746	698	—	746	698	1
小売業	291	290	—	291	290	26
金融業、保険業	2	2	—	2	2	—
不動産業	2,477	2,476	—	2,477	2,476	16
物品賃貸業	—	—	—	—	—	—
学術研究、専門・技術サービス業	38	37	—	38	37	—
宿泊業	54	37	16	37	37	—
飲食業	398	353	43	354	353	3
生活関連サービス業、娯楽業	165	158	—	165	158	—
教育、学習支援業	76	64	—	76	64	—
医療、福祉	713	529	139	573	529	—
その他のサービス	367	372	—	367	372	0
小計	8,319	7,950	496	7,822	7,950	99
国・地方公共団体等	—	—	—	—	—	—
個人	260	43	207	52	43	0
合計	8,579	7,993	704	7,875	7,993	99

(注) 1. 国外のエクスポージャーに対する個別貸倒引当金及び貸出金償却について該当はありません。

2. 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

ニ.リスク・ウェイトの区分ごとのエクスポージャーの額等

(単位：百万円)

告示で定めるリスク・ウェイト区分(%)	エクスポージャーの額			
	2019年9月期		2020年9月期	
	格付適用有り	格付適用無し	格付適用有り	格付適用無し
0%	24,273	1,734,242	17,559	2,224,684
10%	—	263,006	—	259,680
20%	61,269	1,456,497	69,998	1,706,917
35%	—	554,578	—	561,455
50%	185,850	4,273	202,068	675
75%	—	794,362	—	793,687
100%	24,849	982,199	29,056	1,009,354
150%	—	1,101	—	950
250%	—	31,940	—	36,907
1,250%	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
合計	296,243	5,822,202	318,682	6,594,313

(注) 1. 格付は適格格付機関が付与しているものに限ります。

2. エクスポージャーは信用リスク削減手法適用後のリスク・ウェイトに区分しております。

3. コア資本に係る調整項目となったエクスポージャー、CVAリスク及び中央清算機関関連エクスポージャーは含まれておりません。

自己資本の充実の状況等について〈定量的な開示事項〉

信用リスク削減手法に関する事項

信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー

(単位: 百万円)

信用リスク削減手法 ポートフォリオ	適格金融資産担保		保 証		クレジット・デリバティブ	
	2019年9月期	2020年9月期	2019年9月期	2020年9月期	2019年9月期	2020年9月期
信用リスク削減手法が適用された エクスポージャー	20,645	17,490	234,661	224,730	—	—

(注) 当金庫は、適格金融資産担保について簡便手法を用いております。

派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項

(単位: 百万円)

	2019年9月期	2020年9月期
与信相当額の算出に用いる方式	カレントエクスポージャー方式	カレントエクスポージャー方式
グロス再構築コストの額の合計額	804	883
グロス再構築コストの額の合計額及びグロスのアドオン合計額 から担保による信用リスク削減手法の効果を勘案する前の与信 相当額を差し引いた額	—	—

	担保による信用リスク削減手法の 効果を勘案する前の与信相当額		担保による信用リスク削減手法の 効果を勘案した後の与信相当額	
	2019年9月期	2020年9月期	2019年9月期	2020年9月期
①派生商品取引合計	4,083	4,848	4,083	4,848
(i) 外国為替関連取引	3,086	3,457	3,086	3,457
(ii) 金利関連取引	997	1,391	997	1,391
(iii) 金関連取引	—	—	—	—
(iv) 株式関連取引	—	—	—	—
(v) 貴金属(金を除く)関連取引	—	—	—	—
(vi) その他コモディティ関連取引	—	—	—	—
(vii) クレジット・デリバティブ	—	—	—	—
②長期決済期間取引	—	—	—	—
合 計	4,083	4,848	4,083	4,848

	2019年9月期	2020年9月期
担保の種類別の額	担保はありません	担保はありません

	プロテクションの購入		プロテクションの提供	
	2019年9月期	2020年9月期	2019年9月期	2020年9月期
与信相当額算出の対象となる クレジット・デリバティブの種類別想定元本額	—	—	—	—

	2019年9月期	2020年9月期
信用リスク削減手法の効果を勘案するために 用いているクレジット・デリバティブの想定元本額	—	—

(注) グロス再構築コストの額は、0を下回らないものに限っております。

自己資本の充実の状況等について〈定量的な開示事項〉

証券化エクスポージャーに関する事項

イ. オリジネーターの場合(信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャーに関する事項)
該当ありません。

ロ. 投資家の場合(信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャーに関する事項)

①保有する証券化エクスポージャーの額及び主な原資産の種類別の内訳

a. 証券化エクスポージャー(再証券化エクスポージャーを除く)

(単位:百万円)

	2019年9月期		2020年9月期	
	オンバランス取引	オフバランス取引	オンバランス取引	オフバランス取引
証券化エクスポージャーの額	120	-	13	-
住宅ローン	120	-	13	-

b. 再証券化エクスポージャー

該当ありません。

②保有する証券化エクスポージャーの適切な数のリスク・ウェイトの区分ごとの残高及び所要自己資本の額等

a. 証券化エクスポージャー(再証券化エクスポージャーを除く)

(単位:百万円)

リスク・ウェイト区分(%)	エクスポージャー残高				所要自己資本の額			
	2019年9月期		2020年9月期		2019年9月期		2020年9月期	
	オンバランス取引	オフバランス取引	オンバランス取引	オフバランス取引	オンバランス取引	オフバランス取引	オンバランス取引	オフバランス取引
0%~15%未満	-	-	-	-	-	-	-	-
15%~50%未満	120	-	13	-	0	-	0	-
50%~100%未満	-	-	-	-	-	-	-	-
100%~250%未満	-	-	-	-	-	-	-	-
250%~400%未満	-	-	-	-	-	-	-	-
400%~1,250%未満	-	-	-	-	-	-	-	-
1,250%	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	120	-	13	-	0	-	0	-

(注) 所要自己資本の額=エクスポージャー残高×リスクウェイト×4%

ただし、「リスク・ウェイト区分」「エクスポージャー残高」「所要自己資本の額」は、いずれも信用リスク削減効果等を勘案後の内容であるため、上記の計算式と一致しない場合があります。

b. 再証券化エクスポージャー

該当ありません。

③保有する再証券化エクスポージャーに対する信用リスク削減手法の適用の有無

該当ありません。

出資等エクスポージャーに関する事項

イ. 貸借対照表計上額及び時価等

(単位:百万円)

区分	2019年9月期		2020年9月期	
	貸借対照表計上額	時価	貸借対照表計上額	時価
上場株式等	57,599	57,599	51,968	51,968
非上場株式等	22,309	-	22,323	-

ロ. 出資等エクスポージャーの売却及び償却に伴う損益の額

(単位:百万円)

	2019年9月期	2020年9月期
売却益	680	947
売却損	440	397
償却	-	167

ハ. 貸借対照表で認識され、かつ、損益計算書で認識されない評価損益の額

(単位:百万円)

	2019年9月期	2020年9月期
評価損益	13,325	12,204

ニ. 貸借対照表及び損益計算書で認識されない評価損益の額

(単位:百万円)

	2019年9月期	2020年9月期
評価損益	-	-

自己資本の充実の状況等について〈定量的な開示事項〉

リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャーに関する事項

(単位：百万円)

	2019年9月期	2020年9月期
ルック・スルー方式を適用するエクスポージャー	103,651	110,420
マンドート方式を適用するエクスポージャー	—	—
蓋然性方式(250%)を適用するエクスポージャー	—	—
蓋然性方式(400%)を適用するエクスポージャー	—	—
フォールバック方式(1,250%)を適用するエクスポージャー	—	—

金利リスクに関する事項

(単位：百万円)

IRRBB1:金利リスク					
項番		ΔEVE		ΔNII	
		2019年9月期	2020年9月期	2019年9月期	2020年9月期
1	上方パラレルシフト	50,001	70,388		7,437
2	下方パラレルシフト	1	0		240
3	スティープ化				
4	フラット化				
5	短期金利上昇				
6	短期金利低下				
7	最大値	50,001	70,388		7,437
		2019年9月期		2020年9月期	
8	自己資本の額	262,907		271,118	